

データを一元的に管理し、JA窓口における相続手続きの効率化を支援

従来 JA では、事業ごとにそれぞれ異なる窓口で相続事務を実施していた。その手順は複雑であり専門的な知識を必要とするため、人的リソースの面から JA の課題の一つとなっていた。また相続人となる JA 組合員にとっても手間と時間を要する問題であった。こうした背景の下、NTT データは相続手続き支援サービス「inagri」で課題を解決に導いている。

inagri® の主なメリットと特長

相続支援サービス inagri は、JA の窓口における相続手続きの支援を行うクラウド型の定額制のサービスだ。信用、共済、営農の3事業に対応し、inagri を利用することで窓口での相続手続きの堅確化や効率化を実現する（図1）。inagri は、複数事業のデータを一元管理したという点において、NTT データのデータドリブン系ビジネス創出の中で特徴あるユースケースでもある。

主なメリットは以下にまとめられる。

① 堅確化、属人化の解消

一問一答形式のナビゲーションにより JA 職員の事務の堅確化、属人

化を解消。

② 事務の効率化

被相続人の取引状況、相続人へのヒアリング結果から、自動的に必要な徴求書類を一覧化して出力。取引状況、ヒアリング結果から、交付書類のプレ印字も可能。

③ 相続資産の一元管理

全相続資産の手続き状況の一元管理が可能。そのため相続人の負担が軽減。

④ リアルタイムな情報共有

事務手続きの状況を複数人でリアルタイムに共有。そのため相互チェックが可能。



株式会社 NTT データ
第二金融事業本部

JA 銀行事業部 JA 銀行 IT 企画推進担当
課長代理 高橋 正博氏 課長 中村 雄一郎氏
課長代理 伊東 祥氏 課長代理 齋藤 圭尚氏

また、inagri は、SaaS 型での提供のためシステム運用負担は不要、セキュアなクラウド基盤 A-gate® 採用によりパブリッククラウドをより安心・安全に利用可能、という特長を有する。

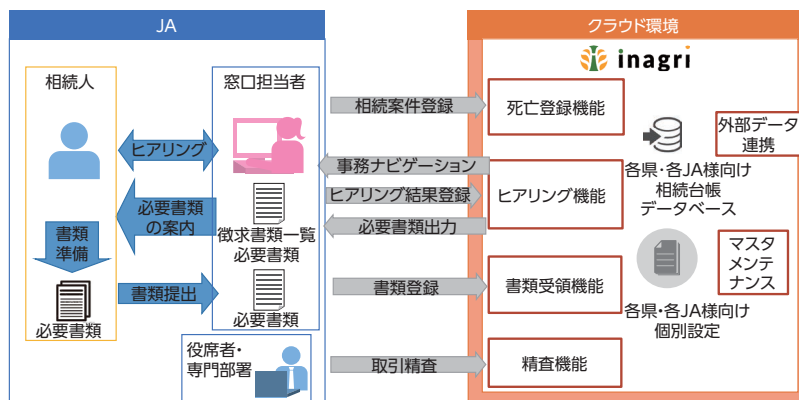


図1 inagri の概要

今後の展開

NTT データは今後、相続人が非対面で相続事務の対応を可能にする機能拡張や、被相続人のライフプランのサポート等生前相続について新しいサービスを拡げることなどにより inagri の機能を充実させたいとしている。